

今日は金曜日。全員揃って行く研修もこれで最後。アメリカに来てから時が流れるのがとても早くて驚きです。今まで学んだことを活かして今日の研修で有終の美を飾りたいところです。



午前中に訪問した企業はPlug and Playです。世界中の大企業、スタートアップ、投資家、大学などをつなぎ、利益を生みそうなアイデアに投資することでその提案者を支援する会社です。提案者が開発したいものやその実現方法、メリットとデメリット等について短いプレゼンを行い、社員で話し合い投資すべき会社を決めます。社内の壁には会社を訪れた多くの方のサインがありました。私もいつかここに名前を連ねられるくらいBIGになってアメリカに帰ってきたいです！



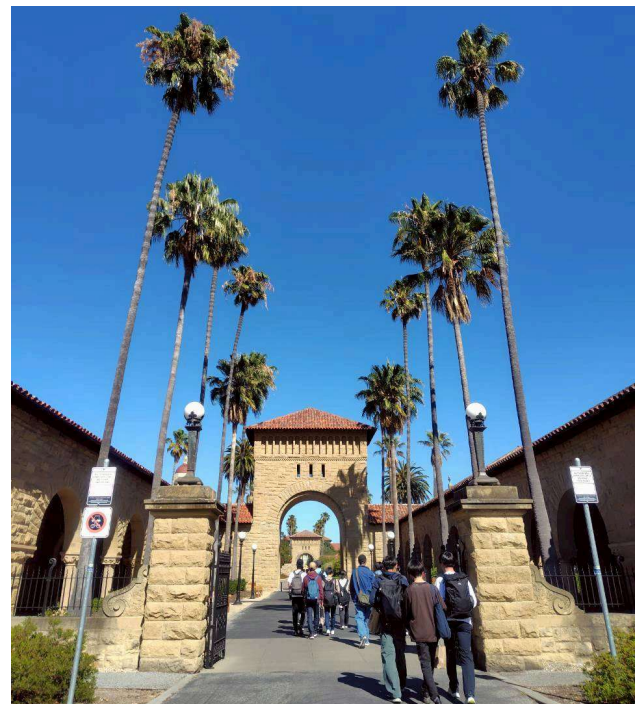
私たちも実際に短時間でショートピッチを体験しました。短い時間で突出した魅力を伝えるだけでなく、現実性や他の製品との違いも説明する必要があり頭をフル回転させました。私たちの考えたアイデアを真剣に検討してもらえて嬉しかったです。



午後はStanford Universityを訪問しました。まるで一つの街のように広いキャンパスに降り立ち、まずは昼食のハンバーガーを食べました。雲ひとつない空の下で食べるハンバーガーは格別です。私はこの研修の中で合計4つのハンバーガーを食べました。昼食中はワールドカップの試合も行われており、大きなモニターの前には大勢の人たちが集まっていました。ちょうどスペインとベルギーが1点ずつ獲得する瞬間を見ることができ、現地の学生の方々と大盛り上がりしました。



昼食を終え、Bookstoreでお土産などを購入した後は、日本出身の学生と日本在住経験のある学生の方々に案内してもらい、キャンパス内をツアーしました。中世ヨーロッパのような建物はとても豪華で、ここが本当に講義を受ける場所なのかと驚きでした。また、富山中部高校の約1730倍もの広大な敷地を歩き回り、そのキャンパスの美しさに感動しました。学生の方とのコミュニケーションの時間には、アメリカの大学に入学するきっかけや大学での勉強だけでなく、アメリカの恋愛事情や好きなアーティストのことまで尋ね、気軽に話すことができました。



その後、Stanford Universityで博士号を取得し研究を行っている西尾祐哉さんからお話を伺いました。西尾さんが現在行っている研究であるソフトバイオエレクトロニクスが医療やロボット、AIなど多方面で役立つことがとても興味深かったです。また、私たち高校生に向けては、周囲からのものさしを気にせず、目の前のことをコツコツと継続して行うことの重要性を教えてもらいました。驚くことに、西尾さんは勉強を趣味の一つとして考えており、高校時代は起きている間、常に勉強していたとおっしゃっていました。私たちもその姿を見習い、日本に帰ったら苦手な教科も好きなことに役立つことを信じて、コツコツと勉強したいです。



大学から帰った後は、夕食でホストファミリーにおにぎりを振る舞いました。日本で定番のおにぎりの具を何種類か用意して作ったところ、マザーはゆかりおにぎり、ファザーは焼き鳥おにぎりを気に入ってくれました。日本語で「おいしい」と言ってくれて、とても嬉しかったです。私たちも、久しぶりに食べた日本食にどこか安心感を得ました。



明日はアメリカで活動できる最終日です。日本よりも快適な気候と美味しいマザーの料理とお別れするのが寂しく、ずっとカリフォルニアにいたいのですが、最後の休日とアメリカを存分に楽しみたいと思います！

#QUOTE of the Day

Just Do It.

Nikeのスローガンより

